

観 点 別 内 容 と 特 色

観 点 ① 教育基本法・学校教育法との関連			
観 点		内 容 と 特 色	該 当 ペ ー ジ
教育基本法への対応	全体	教育基本法の理念を踏まえ、美術の学習を通して幅広い知識と教養を身につけられるよう、題材の設定や掲載作品の選定などに配慮されている。	全体
	第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	◎自然や社会に関する幅広い知識・教養に触れたり、真理を求める態度を養ったりできるよう、さまざまな題材を設定し、発達段階に応じて提示されている。 ◎1年巻頭および2・3年巻頭・巻末には、写真とともに谷川俊太郎氏による文章「うつくしい！」が掲載されており、身近なものの美しさや、人間が歴史の中で育んできた美しさに気づき、幅広い知識・教養に触れたり、真理を求めたりする態度の大切さを生徒が実感できるよう配慮されている。	全体
	第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	◎海外と日本の主要な作家、レオナルド・ダ・ヴィンチ、フィンセント・ファン・ゴッホ、葛飾北斎、岡本太郎を紙面と動画で丁寧に紹介し、たゆまぬ探究心から制作に取り組んだ作家の生涯を学ぶことで、豊かな情操と道徳心が養われるよう配慮されている。 ◎全体を通して、一人一人が個性を生かして主体的に学習活動に取り組み、互いに認め合いながら、学習することの喜びや達成感が得られるよう配慮されている。また、自他の違いを尊重することの大切さに触れられる題材や活動が設定されている。 ◎1年資料は、生徒が主体的に表現方法や材料を選び、形や色などの知識をもとに制作できるように構成しており、創造性を培い、自主及び自律の精神が養われるよう配慮されている。	1年／P.2～3 2・3年／P.2～3、 P.106～107 2・3年／P.14、 P.26、P.42、P.43
	第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	◎他者と話し合う場面や他者の意見を取り入れて制作する様子を掲載し、自他の敬愛と協力を重んずる態度が育まれるよう配慮されている。 ◎現代社会の問題を取り上げた作品や、生徒自ら社会の課題を見つけて作品にする過程を取り上げることで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう配慮されている。	全体
	第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	◎身の回りの自然を表したり、自然の材料を生かしてつくったりする活動や、環境破壊への警鐘を鳴らす作品、環境保護を訴えるデザインなどを鑑賞することで、自然を大切にし、環境保全に寄与する態度が養われるよう配慮されている。	1年／P.16～17、P.18～19、 P.32～33 2・3年／P.5～6、P.72、P.79
	第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	◎日本の美術作品を鑑賞する題材や、全国の伝統工芸などを、よさや美しさが伝わりやすいよう工夫して掲載し、我が国と郷土を愛する態度が養われるよう配慮されている。 ◎平和の大切さを訴える作品や、海外の生徒作品、諸外国の作家作品、文様や仮面などを鑑賞することで、伝えられたメッセージや、地域による風土、表現方法の共通点や違いを感じ取り、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度が身につくよう配慮されている。	1年／P.28、P.36～43、 P.58～59、P.60 2・3年／P.27～42、 P.96～97、P.101～103 全体
	学校教育法への対応	学校教育法に示された教育の目的及び目標を踏まえ、題材の設定や掲載作品の選定、文章表現などが工夫されている。全題材において資質・能力の三つの柱に基づく目標を明示し、「知識及び技能」の習得や、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性」など、生きる力を支える能力を養えるよう配慮されている。	全体

観 点 ② 学習指導要領との関連			
観 点		内 容 と 特 色	該 当 ペ ー ジ
社会に開かれた教育課程への配慮	1年のオリエンテーションとして「教科書を活用しよう」「美術の扉を開こう」というページを設け、3年間の美術の学習で何を学ぶのかを、生徒と保護者が見通せるように工夫されている。表紙の「保護者の皆様へ」では、美術科を学ぶ意義が伝えられている。	表紙 1年／P.8～9、P.10～11	
	2・3年のオリエンテーション「私たちに問いかける美術」「暮らしの中のデザイン・工芸」、「美術の力」では、社会における美術の動きや、生活の中のデザインの役割などを提示し、美術の学びと実生活、実社会とのつながりが実感できるように配慮されている。	2・3年／P.4～6、 P.68～69、P.104～105	
	つくった作品を飾ったり使ったりする活動や、地域・生活と関わりの強い作品などを掲載し、実生活で美術が果たしている役割が具体的に示されている。	全体	
教科の目標への対応	全ての題材に、造形的な見方・考え方に関わる目標を3観点で明記し、美術科での学習を通して資質・能力が育まれるよう配慮されている。	全題材	
	「生活や社会の中の美術や美術文化」のよさや美しさに気づき、豊かに関わる資質・能力を育成できるように、レイアウトや造本が工夫されていたり、特設ページが設けられたりしている。	全体	

知識及び技能	全ての題材に知識及び技能に関わる目標を示し、美術科における知識の実感を伴う理解及びその活用、創造的に表す技能の習得につながるよう配慮されている。	全題材
	全ての題材で発達段階に応じて知識が深まるように題材が配列されている。また、中学校美術で学ぶ知識や技能の内容を、1年資料にまとめ、生徒が必要に応じて参照できるよう工夫されている。	全題材 1年資料全体
	全ての題材に鑑賞の手がかりとなる問いかけが示されている。また、形や色彩、材料について、着目すべき「POINT」を示し、生徒が〔共通事項〕の視点から作品を鑑賞できるよう工夫されている。	全題材
	1年資料には〔共通事項〕や技能に関わる資料、2・3年の「学習を支える資料」には美術史に関わる資料などを掲載するとともに、関連する題材のページには資料へのリンクが示されている。生徒が知識及び技能を習得・活用しやすいよう構成が工夫されている。	1年資料全体 2・3年／P.94～103
	技法の解説動画や制作過程の動画を用意し、該当するページにQRコードが示されている。生徒の表現活動を支援できるよう工夫されている。	1年／P.28、P.56～57 1年資料全体 2・3年／P.94～95
	生徒の発想や構想の手がかりとなるよう、多くの生徒作品を掲載するとともに、「みんなの工夫」では生徒の制作における試行錯誤の過程を詳しく紹介している。「作者の言葉」やアイデアスケッチなども豊富に掲載しており、生徒が発想や構想を広げ深められるよう工夫されている。	全体
	「鑑賞」と「表現」をアイコンでわかりやすく示し、発想・構想段階では、生徒が主体的に「鑑賞」と「表現」を往還することができるように工夫されている。	表現や鑑賞の題材
	1年の「発想のしかたはさまざま」や、1年資料の「発想・構想のために」というページでは、多様な発想のしかたを紹介しており、生徒が発想を広げる手がかりとなるよう工夫されている。	1年／P.14～15 1年資料／P.24～25
	全ての題材において鑑賞活動を設定し、身近にあるものや風景、美術作品などからよさや美しさを感じ取ったり考えたりして、見方や感じ方を深められるよう配慮されている。	全題材
	中学生が親しみやすい作品を選定したり、鑑賞の問いかけを設定したりするなど、生徒が意欲をもって主体的に学習に取り組むことができるよう、構成が工夫されている。	全体
思考力・判断力・表現力等	1年巻頭および2・3年巻頭・巻末の谷川俊太郎氏による文章「うつくしい！」や、1年、2・3年のオリエンテーション、2・3年の「美術の力」などから、豊かな感性や思いやりを育み、美術の学びを人生や社会に生かすことができるよう工夫されている。	1年／P.2～3、P.4～7、P.10～11 2・3年／P.2～3、P.4～6、 P.104～105、P.106～107
	生徒の制作における試行錯誤の過程を紹介した「みんなの工夫」や、生徒作品に添えられた「作者の言葉」などから、粘り強く学習に取り組む態度が育まれるよう配慮されている。	表現や鑑賞の題材
	1年の各分野の導入として、「『絵や彫刻』の世界」「発想のしかたはさまざま」、「『デザインや工芸』の世界」が設定されており、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。	1年／P.12～15、P.46～47
	全ての題材において、「表現」と「鑑賞」の活動がアイコンで示されている。学びの流れが明確で、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	全題材
	「みんなの工夫」をはじめ、生徒の試行錯誤の様子や制作過程を詳しく示すことで、「自分ならどういう作品をつくりたいか」と主体的に考えられるよう工夫されている。	全題材
	1年資料には、材料や用具の扱い方、〔共通事項〕に関わる内容がまとまっており、表現活動の際に、生徒が主体的に参照することができる。	1年資料全体
	全ての題材において、最初に鑑賞活動を提示するとともに、対話を促すような問いかけが示されている。	全題材
	他者と対話しながら制作を進める様子や、生徒が試行錯誤の過程で、自分と対話しながら表現活動を進める様子が掲載されており、対話的な学びを促す紙面の工夫がされている。	表現や鑑賞の題材
	1年巻頭および2・3年巻頭・巻末の谷川俊太郎氏による文章「うつくしい！」や、1年、2・3年のオリエンテーション、2・3年の「美術の力」など、3年間の学びを通して、美術と生活や社会とのつながりを考えさせることで、以後の学習や人生において造形的な見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。	全体 1年／P.2～3、P.4～7、 P.10～11 2・3年／P.2～3、 P.4～6、P.104～105、P.106～107
	1年資料は、生徒自身が必要な情報にすぐにたどり着けるようにコンパクトでわかりやすくまとめられているため、生徒自身で調整しながら学習を進める「学習の個性化」に対応している。	1年資料全体
主体的な学び	紙面のQRコードから視聴できる動画は、字幕を付けたり、再生速度を変えたりすることができるため、生徒の特性に応じて指導する「指導の個別化」に対応している。	全体
	他者と対話しながら制作を進める様子や、生徒どうしの話し合いの様子を伝える写真が多く掲載されているため、協働的な学びが自然に促されるよう工夫されている。	全体
	地域の課題と向き合ったり、地域の魅力を伝えたりする題材では、生徒どうしのみならず、地域との協働的な活動を促すような工夫をし、よりよい社会の担い手となる資質・能力が育まれるよう配慮されている。	2・3年／P.72、P.77、P.88～91
	各題材の最初に、鑑賞図版とともに問いかけを設け、生徒が主体的に作品を鑑賞し、自然に対話が生まれるよう工夫されている。1年の「美術鑑賞を楽しむ手がかり」では、「美術鑑賞を広げる言葉」として、鑑賞活動で使われるさまざまな語彙を示し、生徒が言語活動に取り組みやすいよう配慮されている。	全題材 1年／P.68～69
	他者と意見交換をしながら作品をつくる様子や、作者の思いや制作の意図を伝える「作者の言葉」が掲載されている。また、「みんなの工夫」のQRコードからは、生徒が自分の作品について語るインタビュー動画を視聴することができ、生徒のコミュニケーション能力の育成と言語活動の充実を図ることができるよう配慮されている。	表現や鑑賞の題材
	各題材に〔共通事項〕を意識させる鑑賞の問いかけと「POINT」を示し、〔共通事項〕の内容を実感的に理解しながら学習を進めることができるよう配慮されている。	全題材
	1年資料には、形・色彩・材料・光に関する解説ページを設け、生徒が〔共通事項〕の資料を適宜参照できるよう工夫されている。	1年資料全体

協働的な学びへの対応	個別最適な学び	協働的な学び	充実への配慮	取扱いへの配慮
------------	---------	--------	--------	---------

観点 3 学習・指導への配慮			
観 点		内 容 と 特 色	該 当 ペ ー ジ
カリキュラム・マネジメントへの対応	道徳教育との関連	「他者への思いやり」「人権」「平和」「伝統文化」「自然」「環境」など、道徳教育に関連する題材を積極的に取り上げ、豊かな情操を養い、道徳心を涵養する内容となっている。	全体
		特に道徳教育と関連する題材のページ下には、「道徳科とのつながり」というマークとともに道徳科の内容項目を示し、生徒が道徳との関連を意識して学ぶことができるよう工夫されている。	1年／P.21、P.22、P.28、P.42、P.48、P.50、P.55、P.56、P.59、P.62、P.64 2・3年／P.14、P.26、P.43、P.46、P.54、P.66、P.70、P.74、P.76、P.78、P.80、P.82、P.88、P.92
		さまざまな国や地域の作品や、作家の個性を生かした作品を掲載することで、多様な価値観を認め、相互理解の心を育めるよう配慮されている。	全体
	他教科等との関連	特に他教科と関連する紙面には、「〇〇科とのつながり」というコラムを設け、1年、2・3年を通して、全教科と関連するように設定されている。他教科での学びを意識しながら、表現や鑑賞の活動を行うことができるように工夫されている。	1年／P.31(音楽科)、P.55(数学科)、P.56(外国語科)、P.60(家庭科)、P.68～69(国語科) 1年資料／P.27(理科) 2・3年／P.15(社会科)、P.49(保健体育科)、P.73(国語科)、P.79(国語科)、P.85(技術・家庭科)、P.91(数学科)
図画工作科との接続への配慮		美術での学習を無理なくスタートできるよう、1年のオリエンテーションとして「美術の扉を開こう」というページが設けられている。生徒が3年間の学びを見通し、これからの学習に期待感がもてるよう工夫されている。	1年／P.10～11
		1年「絵や彫刻など」のオリエンテーションとして「『絵や彫刻』の世界」「発想のしかたはさまざま」というページを設け、絵や彫刻の学習で大事なことや、表現方法は多様であることが理解できるように工夫されている。「デザインや工芸など」のオリエンテーションでは「『デザインや工芸』の世界」というページを設け、デザインや工芸そのものへの理解が深められるよう配慮されている。	1年／P.12～15、P.46～47
国際理解への配慮	平和教育や国際理解への配慮	教科書の全てのページについて、浜田麻里先生（京都教育大学教授、専門・日本語教育）の校閲を受けている。	全体
		生徒に平和を希求する心が育つよう、平和や国際理解について考えさせるきっかけとなるような作品や取り組みが積極的に取り上げられている。	1年／P.10～11 2・3年／P.4～6、P.24～26、P.60～66、P.70～71
		日本だけでなく、世界のさまざまな国や地域の作例が取り上げられている。それらを比較鑑賞し、共通点や違いを考えさせるような問いかけも設定し、自国の文化だけでなく、他国の文化も尊重する態度が養われるよう配慮されている。	全題材
人権教育への配慮	人権教育への配慮	教科書の全てのページについて、出口真紀子先生（上智大学教授、専門・人権教育）の校閲を受けている。	全体
		いじめ防止や差別撤廃など、人権をテーマに制作した作品が積極的に掲載されている。	2・3年／P.73、P.75、P.76 他
尊重への配慮	多様性の尊重への配慮	全体を通して、写真に写る生徒や登場するキャラクターなどに性別による偏りが見られない。取り上げる作品の作者についても性別や国籍による偏りがなく、多様性を尊重しながら学ぶことができるよう配慮されている。	全体
		アール・ブリュットの作家をはじめとした多様な表現の作品を取り上げたり、多様性をテーマにした作品を掲載したりすることで、他者を思いやる人間性が育まれるよう配慮されている。	1年資料／P.14 2・3年／P.73、P.75、P.76、P.105
伝統文化・地域文化への配慮	伝統文化・地域文化への配慮	全体を通して多様な日本美術が掲載されている。また、日本の文化財を大きく掲載したり、日本の絵画を風合いのある用紙に掲載するなど、日本の伝統文化への理解が深まるよう工夫されている。また、日本の国宝に指定されているものについては、生徒が理解できるよう作品名に「国宝マーク」を添えて示されている。	全体 1年／P.36～43、P.58～59 2・3年／P.27～42、P.96～97、P.98～100
		題材で適宜日本の工芸品を取り上げるとともに、47都道府県の伝統工芸品や、アイヌや琉球の民族衣装など、郷土で育まれてきた美術文化を積極的に紹介し、それらを愛し、大切にする態度が培われるよう配慮されている。	1年／P.60～61、P.62～63 2・3年／P.78～79、P.84～85、P.101～103
		日本だけでなく、さまざまな国や地域の文様や仮面などの美術文化を積極的に紹介し、自他の美術文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。	1年／P.52～53、P.64～65
環境教育への配慮	環境教育への配慮	身の回りの自然を表したり、自然の材料を生かしてつくりする活動や、環境破壊への警鐘を鳴らす作品、環境保護を訴えるデザインなどを鑑賞する活動を通して、自然を大切に作る態度が培われるよう配慮されている。	1年／P.16～17、P.18～19、P.32～33 2・3年／P.5～6、P.72、P.79
防災教育への配慮	防災教育への配慮	教科書の全てのページについて、木村玲欧先生（兵庫県立大学教授、専門・防災心理、防災教育）の校閲を受けている。	全体
		2・3年には「防災のデザイン」という題材を設け、デザインが防災へ果たす役割について考えられるように工夫されている。また、東日本大震災などの自然災害の後につくられた建築や防災の取り組みを取り上げ、生徒の防災意識を高められるよう配慮されている。	2・3年／P.77、P.82～83、P.93
キャリア教育への配慮	キャリア教育への配慮	身近な製品を鑑賞する題材や、作家やデザイナーなど、社会で活躍するつくり手の活動や言葉が示されており、生徒の職業への意識や、勤労を重んずる態度が養われるよう配慮されている。	1年／P.19、P.60～61、P.62～63 2・3年／P.59、P.68～69、P.77、P.80～81、P.86～87、P.88～89
知的財産権や肖像権への配慮	知的財産権や肖像権への配慮	写真や動画を撮影する活動や、端末の活用などの解説では、他者の著作権や肖像権を侵害することのないよう、注意を促す文章が注意喚起のマークとともにわかりやすく示されている。	1年資料／P.7、P.11、P.20、P.22～23 2・3年／P.94
安全指導への配慮	安全指導への配慮	1年資料では、刃物を扱うときや金属加工の際などの注意事項が、注意喚起のマークとともにわかりやすく示されている。	1年資料／P.9、P.18～19
ICT機器の活用への配慮	ICT機器の活用への配慮	タブレット端末などを使った制作過程や作品を積極的に掲載するとともに、1年資料では、端末の活用方法や、写真や動画の撮影方法を解説し、生徒が関心をもって正しく活用できるよう配慮されている。	各題材 1年資料／P.11、P.20～21、P.22～23
持続可能な開発目標への配慮	SDGs（持続可能な開発目標）への配慮	平和や人権問題、環境や地域文化・伝統文化、多様性への配慮など、現代的な諸課題に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や、主体的な取り組みを促すよう配慮されている。関連する題材のページ下には17の目標の番号を示し、生徒がSDGsとの関連を意識して学べるように配慮されている。	全体
		2・3年のオリエンテーションでは、「私たちに問いかける美術」と題し、SDGsに関連する美術作品をアイコンとともに示し、美術が持続可能な社会へ果たす役割について考えられるように配慮されている。	2・3年／P.4～6

色覚特性への配慮 特別支援教育への配慮	教科書の全てのページについて、氏間和仁先生（広島大学大学院教授、専門・特別支援）、市原恭代先生（工学院大学准教授、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構〔CUDO〕理事）、小貫悟先生（明星大学教授、専門・LD、ADHD、高機能自閉症などへの援助技法の研究）の校閲を受けている。	全体
	図版と図版の間をあけたり、野線を引いたりして、学習上支援が必要な生徒も境界を明確に区別できるよう配慮されている。	全体
	全学年を通して、文字がやや小さくなる場合は、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、1年資料には、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインについての解説を設け、ユニバーサルデザインについての生徒の理解を深める工夫がされている。	全体 1年資料／P.10、P.33
負担軽減への配慮	各題材では、「表現」と「鑑賞」の活動を授業の流れに沿って示し、授業の組み立てがしやすいレイアウトになっている。また、紙面のQRコードにリンクしたウェブコンテンツとして、導入に使える音声や解説動画、各種の技法動画に加えて、書き込みツールなどのワークに使用できるコンテンツを用意し、授業準備の負担軽減への配慮がされている。	全題材
ウェブコンテンツ	題材に関連する解説動画や技法動画などのウェブコンテンツを用意し、該当するページにQRコードが示されている。生徒の表現活動や鑑賞活動を支援できるよう工夫されている。	全体
	「体感ミュージアム」として設定している鑑賞中心の題材では、書き込みツールや動画、360°写真などのウェブコンテンツを豊富に用意し、教科書紙面とタブレット端末などを活用しながら、鑑賞を深めることができるよう工夫されている。	1年／P.20～21、P.36～43、P.58～59 2・3年／P.12～15、P.24～26、P.60～67

観点 4 使用上の配慮・工夫			
観 点		内 容 と 特 色	該 当 ペ ー ジ
構成分量・配列	生徒の発達段階への配慮	1年では、幼児教育や図画工作科とのつながりを考え、2・3年では、身につけた資質や能力をさらに深め、歴史や社会との関係に視野を広げるなど、内容の系統性や学年の発達段階に配慮した構成となっている。	全体
		2・3年を1冊にまとめ、豊富な題材を各校の実情に合わせて柔軟に選択できるよう配慮されている。	2・3年全体
		1年資料には、3年間を通して使う材料や用具の資料、〔共通事項〕に関わる資料などがまとめられている。生徒自らが必要に応じて参照できるよう、構成が工夫されている。	1年資料全体
	題材の配列・分量	「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」という分野ごとに構成することで、生徒が学習の内容をイメージしやすいよう配慮されている。	全体
		3学期制、2学期制どちらにも対応できるよう、題材数、領域のバランスが工夫されている。	全体
		3年間を通して必要とされる知識及び技能を支える資料は、1年資料にまとめ、2・3年次にも使用することができるよう工夫されている。	1年資料全体
		教科書全体を通して、絵や彫刻、デザインや工芸の他、カメラやICT機器を使うなどさまざまな技法の作品を幅広く取り上げ、生徒が多様な表現方法の中から自分の主題に合うものを選択できるよう配慮されている。	全体
		鑑賞中心の題材では、他者と対話する、作品を比較する、美術文化について知識・理解を深めるなど、多様な切り口の鑑賞活動がバランスよく示されている。	鑑賞中心の題材
	目標の示し方	全ての題材で、目標を3観点で示し、わかりやすい簡潔な文言でまとめ、身につける力や学習のねらいが生徒に明確に伝わるよう工夫されている。	全題材
	選定と取り扱い 掲載作品の扱い	発達段階や、生徒の学習意欲を喚起することを考慮し、作品が選定されている。	全体
		地域や時代、性別に偏りが出ないよう配慮されている。また、生徒の主体的・対話的な学びが生まれるような作品が選定されている。	全体
		多くの生徒作品を掲載し、特に発想や構想の段階での工夫に着目して選定されている。	全体
表記・表現	書体・表記への配慮	全体を通して読みやすさに配慮し、文字がやや小さくなる場合には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントが使用されている。	全体
		図版や写真のキャプションには、作品の名称、材料や技法、大きさ、制作年、作者名と生没年・出身地が示されている。適宜、簡潔な解説文が添えられており、学習を進める上で有効な情報となるよう配慮されている。	全体
	マークの示し方	教科書に使用されているマークは、誰もが識別しやすい形や色で示されている。	全体
判型・印刷・製本	判型の工夫	1年および2・3年はA4判より横に広いA4ワイド判で、鑑賞図版を大きくダイナミックに掲載し、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。	1年全体 2・3年全体
		1年資料はA4判で、コンパクトで使いやすいように配慮されている。	1年資料全体
	造本の工夫	2・3年の日本の絵画を鑑賞する題材では、16ページにわたり風合いのある用紙を使用し、鑑賞活動が深まるよう造本の工夫がされている。	2・3年／P.27～42
		1年資料はページを折り返すことのできる中綴じ製本を採用し、制作中に机上に置いてもスペースをとらないよう工夫されている。	1年資料全体
		片観音開き（3ページ）や両観音開き（4ページ）のページを設け、視覚的に生き生きとした紙面構成で、生徒の興味・関心や学習意欲を高められるよう工夫されている。	1年／P.4～6、P.37～40 2・3年／P.4～6、P.61～64、P.98～100
	印刷	鑑賞図版や文字が鮮明に印刷できる、発色のよいコート紙が使用されている。	全体
	製本	製本は堅牢で、生徒がページを開きやすいよう綴じ方も工夫されている。	全体
	環境への配慮	環境への負荷が少ない用紙と植物油インキを用いており、環境の保全や生徒の健康に対して、十分な配慮がされている。	全体